

～ゴルフ場の生き残りをかけて・今我々がなすべきこと～  
ゴルフ場におけるサステナビリティ「組織の持続性」  
講習会

事前アンケート結果

平成30年2月5日(月)  
於：大相模カントリークラブ  
一般社団法人関東ゴルフ連盟  
グリーン委員会

# 参加申込FAX受信後→FAXにて 事前アンケート送信(1月19日締切)

(一社)関東ゴルフ連盟 宛 FAX:03-6278-0008

期限:1月19日

## 「ゴルフ場におけるサステナビリティ講習会」事前アンケート調査

ご参加いただく倶楽部の皆様へ、下記4項目のアンケートへのご協力をお願いします。

皆様の倶楽部で取り組まれていることに○をつけて下さい。また、この他にも倶楽部内で取り組まれていることや、特に成果を挙げている内容がございましたら是非教えて下さい。

(コース管理、マスター室や総務課、食堂や営業等部署は問いません)

### 1. 環境への配慮

- |                             |    |     |
|-----------------------------|----|-----|
| ・廃棄物の量や Co2 等のガスの排出量を削減している | はい | いいえ |
| ・天然資源の使用量を削減している            | はい | いいえ |
| ・農薬や肥料の使用量を削減している           | はい | いいえ |

参加申込33倶楽部中26倶楽部より回答(79%)  
をいただきました。



# 1.環境への配慮

- ① 廃棄物の量やCO2ガスの排出量削減
- ② 天然資源の使用量を削減
- ③ 農薬や肥料の使用量を削減
- ④ 廃棄物を再利用
- ⑤ 再生材料のものを購入
- ⑥ 自然環境に配慮しながら樹木の植栽を行う
- ⑦ 会員や職員へ環境に対する意識を深める行動

	はい	いいえ	未回答	
①	12	12	2	
②	12	12	2	
③	21	5	0	
④	11	14	1	
⑤	17	8	1	
⑥	20	6	0	
⑦	13	12	1	



- ・管理車両等エンジンの点検整備を念入りに実施
- ・伐採後の再利用可能植栽を利用
- ・伐採木のチップ化、枝葉、刈草、落葉の堆肥化→コースに還元
- ・伐採木の製紙原料化(持ち出し)
- ・長期残効型農薬の使用
- ・レストランの廃油で石鹼を作成し使用
- ・動植物環境調査実施、報告書を作成し会員に配布

## 2.法の遵守

- ① 環境に関する法令遵守
- ② 農薬の管理や散布について法令を遵守
- ③ 定期的に水質調査や土壌調査を行っている
- ④ 廃棄物を適正に処理

	はい	いいえ	未回答	
①	26	0	0	
②	26	0	0	
③	26	0	0	
④	25	0	1	

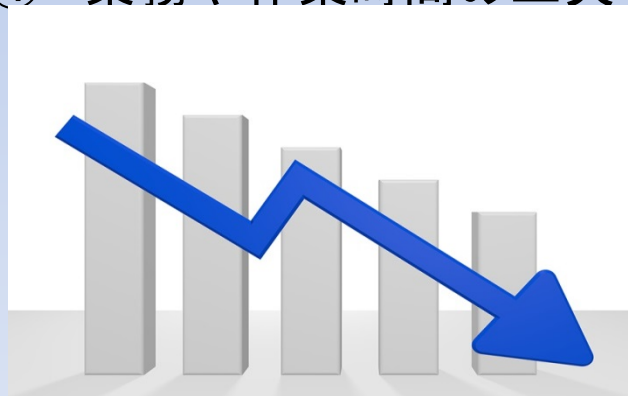


- ・年3回の水質調査
- ・土壌は2年に1回、水質は年2回
- ・なるべく多くの職員に農薬管理指導士等の資格を取得させる  
(農薬指導士の人員増)
- ・専門業者に廃棄物処理を委託
- ・廃棄物等はほぼ産廃業者へ委託

# 3.コストについて

- ① 排水を再利用
- ② 水、電気、ガス等使用量を低減
- ③ 資料は両面コピーで作成、メモ用紙で利用
- ④ 業務や作業時間の工夫

	はい	いいえ	未回答	
①	2	24	0	
②	14	2	0	
③	26	0	0	
④	21	4	1	



- ・溜池を造成し、コース用水として使用
- ・電化製品を省エネタイプへ交換
- ・LEDに変更、使用量を超えた場合のアラーム設定  
(ハウス内の全照明をLED化、電球等積極的にLED化)
- ・節電、電力会社の再選択による使用量減
- ・入場者数に合わせ出勤人数・休憩時間を調整

## 4. 周辺地域との共生

- ① 周辺地域に情報を発信
- ② 周辺地域と定期的に接点をもつ等関係強化
- ③ 災害時に施設や用地の提供をする  
取り決め

	はい	いいえ	未回答	
①	14	12	0	
②	20	6	0	
③	13	12	1	



- ・地元の集会に参加
- ・近隣養蜂場と連絡
- ・ヘリポートとして使用
- ・ドクターヘリ等離着陸として提供
- ・市より災害時における一時避難場所の指定を受ける
- ・県と市の道路美化活動に登録(年4回)
- ・市の自然環境調査による植物調査を休場日等を利用し協力  
→希少な植物、草原性植物も多く確認